

都市再生整備計画 事後評価シート  
柏北部地区

平成26年3月

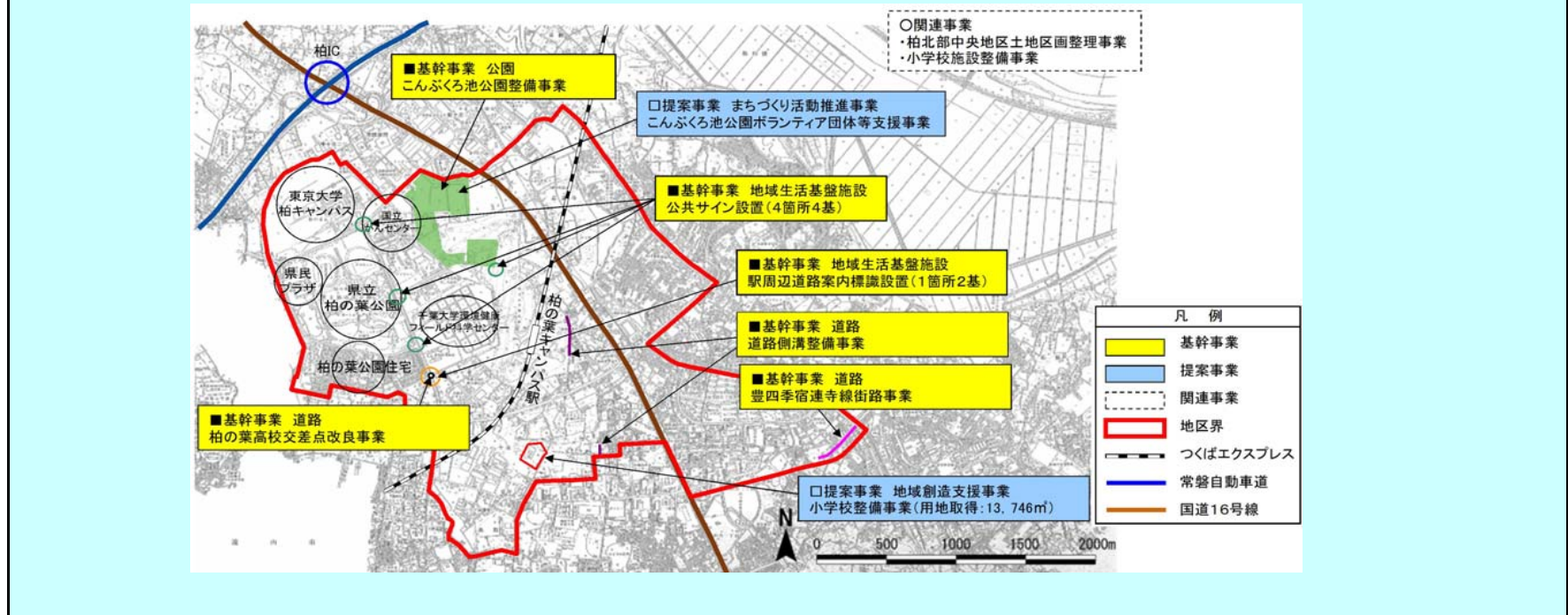
千葉県 柏市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	柏市		地区名	柏北部地区			面積	632.3ha			
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	6,990百万円	国費率	0.388					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	道路整備事業(豊四季宿蓮寺線緑路事業、道路側溝整備事業、柏の葉高校交差点改良事業)、公園(こんぶくろ池公園整備事業)、地域生活基盤施設(公共サイン設置、駅周辺道路案内標識設置)										
	当初計画から削除した事業		提案事業	まちづくり活動推進事業(まちづくりイベントの開催、こんぶくろ池公園ボランティア団体等支援事業)										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業	-			-			-				
			提案事業	まちづくり活動推進事業(まちづくりイベントの開催)			当初予定していたまちびらきイベントが事業期間内に開催出来なかったため、取りやめる。			数値目標1地区内の人口密度、及び数値目標3柏の葉キャンパス駅の乗車人員に間接的に影響するが、目標値は据え置くものとする				
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	地区内の人口密度	人/ha	39	H21	41	H25	モニタリング	評価値	47.2	○	あり なし	柏の葉キャンパス駅周辺において集合住宅開発が進み、近隣エリア内の居住人口は順調に推移し単位面積当たりの人口が増加し、数値目標の達成に至っている。	平成26年6月
	指標2	こんぶくろ池及び周辺の自然環境資源に関わるボランティアの年間の活動延べ人数	人/年	500	H21	1,000	H25		720	△	あり なし	● 職員ボランティアの解散やその後に発生した福島第一原発事故の影響等に伴いH23年度に活動人員が減少したことにより目標到達には至らなかったものの、人員の上昇傾向が見られ、一定の効果が確認できる。	平成26年4月	
	指標3	つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅の日平均乗車人員	人/日	9,100	H21	12,400	H25		13,395	○	あり なし	駅周辺の開発に伴い、定住人口が増加し、乗車人員が増加し、数値目標の達成に至っている。	平成26年6月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	<p>①本事業で支援を行った、NPOこんぶくろ池自然の森が、「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」の選定団体に選定、「第10回日本自然保護協会沼田賞」、「第23回「緑の愛護」功労者国土交通大臣表彰」、「平成24年度 手づくり郷土賞(国土交通大臣表彰)一般部門」を受賞した。</p> <p>②「マルシェコロール」「CO2見える化プロジェクト」「まちのコスチューム」の3つが平成23年度のグッドデザイン賞を受賞した。</p> <p>③平成23年3月に経団連より「未来都市モデルプロジェクト」に、また、12月に内閣府より総合特区、環境未来都市の認定を受けた。</p> <p>④平成24年11月に総務省よりICT街づくり推進事業に係る委託先候補の決定を受け、官民協働で「柏の葉スマートシティにおけるエネルギー・健康・防災の共通統合プラットフォームの構築」への取り組みを行っている。</p>													
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等		
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			-			-			-		
	住民参加プロセス	特定非営利活動法人こんぶくろの池自然の森による、こんぶくろ池の自主的整備	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			-			-			-		
持続的なまちづくり体制の構築	こんぶくろ池公園ボランティア団体等支援事業 *1) 柏の葉アバンティセンター(UDCK)によるエリアマネジメントの実施 *2) 柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会によるまちづくり活動への取り組み *3)	都市再生整備計画に記載し、実施できた			● *1)			● *2,3)			*1):引き続き、活動支援を行っていく。 *2):公・民・学の連携により、継続的な活動や新たな活動への取り組みを推進する。 *3):地域レベルでの幅の広いまちづくり活動への取り組みを進めていく。			

様式2-2 地区の概要

柏北部地区(千葉県柏市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 北部ゾーンの拠点として機能する、活力と環境が調和した魅力ある環境交流都市の形成	地区内の人口密度	人/ha	39	H21	41	H25	47	H26
目標1: 地区と周辺地域とのアクセス強化による拠点としての中心性の確保	こんぶくろ池及び周辺の自然環境資源に関わるボランティアの活動人数	人/年	500	H21	1,000	H25	720	H26
目標2: 地域に残る貴重な自然環境資源を生かしたまちの形成	柏の葉キャンパス駅の乗車人員	人/日	9,100	H21	12,400	H25	13,395	H26
目標3: 学術研究機関や産業支援施設、産業施設、県立柏の葉公園、こんぶくろ池公園、学校等公共施設の拡充による地域住民の利便性向上、来訪者の増加、広域交流の拡大・活力の創出								



まちの課題の変化	<p>【自然環境資源を保全するための早急な対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市によるこんぶくろ池の用地取得が進んだほか、平成22年にまちづくりの推進や環境保全を目的としたNPOが設立された。・積極的な里山活動、調査研究活動、清掃活動等が進んだことにより、良好な自然環境の保全が図られつつある。</li> <li>・一方で、まちづくり活動は軌道に乗りつつあるが、当初目標値としていたボランティア活動人数には至らなかった。</li> </ul> <p>【来訪者への安全・快適な歩行環境の確保、車輦交通による地区への円滑なアクセス確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の部分供用開始できる見込みが立ったほか、交差点の整備などが進んだことから、自動車交通利便性は向上しつつある。・サイン整備等により地区内の歩行者環境の向上が図られつつある。</li> </ul> <p>【柏市北部ゾーンの拠点としてのまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業の進捗にあわせて、生活利便施設や小学校等の立地が進み、都市拠点の形成が進みつつある。</li> </ul> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市機能の集約にあわせて地区内の案内サインの配置を再検討することが必要である。・地区内でまちづくり活動が活性化していることから、後方支援を行うことが必要である。</li> <li>・人口減少や少子高齢化に備えて都市拠点として機能の集約、効率化を進めるための受け皿づくりが必要である。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>【効果を持続させるために行う方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①骨格・拠点となる水と緑の整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんぶくろ池の用地確保に加えて、公園や緑地等の整備を進め、環境や景観に配慮したまちづくりを更に発展させる。</li> </ul> </li> <li>②安全・安心、かつ、賑わいを発信する地域核の整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心拠点として来訪者の増加や、広域交流の拡大を促進する。・新たな居住の受け皿を創出するほか、居住環境の向上により街の魅力を高める。</li> </ul> </li> <li>③都市基盤の継続整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の継続整備を行うほか、土地区画整理事業を継続し、安全で快適な交通体系を確立する。</li> </ul> </li> </ol> <p>【改善策】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地区内まちづくり活動の継続支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なまちづくり活動が地区内で行われていることから、活動基盤強化のための支援を実施する。</li> </ul> </li> <li>②効率的、効果的な都市基盤の運営・維持管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市公設市場の再整備など、既存ストックを有効活用し都市機能の分散化を防ぐ。・人口増加に対応する他、持続可能な都市居住の維持を図るため、中心拠点区域への公共公益施設の集約立地を行う。</li> <li>・東日本大震災時の経験を踏まえ、防災拠点の整備を行う。・柏キャンパス駅から柏たなか駅の一体的に整備が進む地域において、緑のネットワークづくりを中心としたまちづくりの展開を行う。</li> </ul> </li> </ol>

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	●		目標3 学術研究機関や産業支援施設、産業施設、県立柏の葉公園、こんぶくろ池公園等を訪れる来訪者の増加、広域交流の拡大による活力の創出	目標3 学術研究機関や産業支援施設、産業施設、県立柏の葉公園、こんぶくろ池公園、学校等公共施設の拡充による地域住民の利便性向上、来訪者の増加、広域交流の拡大・活力の創出	土地区画整理事業地区内に予定している小学校用地を取得するとともに、地域住民の利便性を向上・土地区画整理事業の進捗に合わせた定住及びまちの熟成を促進する。当該小学校は平成24年度開設を予定していることから、早期の開設を実現すべく、まちづくり交付金による小学校の用地取得促進を図る。 また、区画整理事業の進捗し使用収益が開始及び小学校開設に伴い、区画整理区域外の歩行者環境を改善し、小学校や駅へのアクセスの強化を図る。
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他(区域の拡大 )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	豊四季宿連寺線街路事業	1,188	380m	968	380m	・事業計画の見直しに伴う事業費及び年次事業配分の変更。	影響なし		●
	道路側溝整備事業	28	680m	8	270m	・小学校の新設と区画整理の使用収益開始に伴い、歩行者環境を整え、小学校や柏の葉キャンパス駅へ区画整理区域外からの人の流入を促進するため道路側溝の整備を行う。 ・事業費精査に伴う事業費の変更	数値指標3「柏の葉キャンパス駅の乗車人員」に間接的に影響するが、目標値は据え置くものとする。	●	
	柏の葉高校交差点改良事業	15	50㎡	12	50㎡	・事業費精査に伴う事業費の変更。	影響なし	●	
公園	こんぶくろ池公園整備事業	3,728	18.5ha	3,893	18.5ha	・事業の早期完了を目指し、第2期に予定していた用地取得を第1期に前倒ししたため、事業費を変更。その後、地権者との合意の見通しが立たず、用地取得を延期せざるを得ず、事業縮小。	数値指標2「こんぶくろ池及び周辺の自然環境資源に関わるボランティアの活動人数」に間接的に影響するが、目標値は据え置くものとする。		●
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	公共サイン設置	8	4箇所7基	4	4箇所4基	・まちづくりの進捗に伴う公共サインの必要性の見直しにより、事業縮小。	影響なし	●	
	駅周辺道路案内標識設置	7	2箇所4基	2	1箇所2基	・事業計画の見直しに伴う事業量及び事業費の減少、年次事業配分の変更。 ・まちづくりの進捗に伴う駅周辺道路案内看板の必要性の見直しにより、事業縮小。	影響なし	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1・事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	小学校整備事業(用地取得)	-	なし	2,100	13,746㎡	・地域住民の利便性を向上するとともに、土地区画整理事業の進捗に合わせた定住及びまちの熟成を促進するため、土地区画整理事業区域内に予定している小学校を新設。そのため、事業を追加。 ・詳細設計の結果及び不動産鑑定結果に伴う事業規模の修正と全体事業費の修正。	数値指標「地区内の人口密度」に間接的に影響するが、目標値は据え置くものとする。	●	
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業	まちづくりイベントの開催	3	-	-	-	・当初予定していたまちびらきイベントが事業期間内に開催出来なくなったため、事業を廃止。	影響なし	-	-
	こんぶくろ池公園ボランティア団体等支援事業	5	-	3	-	・事業計画の見直しに伴う事業期間及び事業費の変更。	影響なし		●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと





添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無			
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	数値	モニタリング	事後評価	あり	なし		
指標1	地区内の人口密度	人/ha	住民基本台帳からエリア内の大字町丁目人口を集計し、平成21年度～平成25年度(各年3月末時点数値)の居住人口の傾向から1ha当たりの人口密度を計算し、評価基準日における評価値(見込み値)を算定し評価値とした。	-	-	39	H21	41	H25	モニタリング			モニタリング				
										事後評価	確定見込み	●	47	事後評価	○		
指標2	こんぶくろ池及び周辺の自然環境資源に関わるボランティアの年間の活動延べ人数	人/年	特定非営利活動法人こんぶくろ池自然の森から聞き取り調査を行い、ボランティア活動人員の傾向から、評価基準日における値を推計し、評価値(見込み値)とする。	-	-	500	H21	1,000	H25	モニタリング			モニタリング				
										事後評価	確定見込み	●	720	事後評価	△		
指標3	つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅の日平均乗車人員	人/日	都市再生整備計画事業採択後の日平均乗車人員の公表値の傾向から、評価基準日における値から日平均乗車人員を推計し、評価値(見込み値)とする。	-	-	9,100	H21	12,400	H25	モニタリング			モニタリング				
										事後評価	確定見込み	●	13,395	事後評価	○		
指標4										モニタリング			モニタリング				
										事後評価	確定見込み			事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング				
										事後評価	確定見込み			事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	柏の葉キャンパス駅周辺において集合住宅開発が進み、近隣エリア内の居住人口は順調に推移したことから単位面積当たりの人口が増加し、数値目標の達成に至っている。	
指標2	H23年度に職員ボランティアの解散に伴い活動人員が減少したことや、その後に発生した福島第一原発事故の影響等により目標到達には至らなかったものの、人員の上昇傾向が見られ、一定の効果が確認できるが、1年以内での達成は見込めないと判断した。	
指標3	駅周辺の開発に伴い、定住人口が増加し、乗車人員が増加し、数値目標の達成に至っている。	
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。  
 ※2 目標達成度の記入方法  
 ○ : 評価値が目標値を上回った場合  
 △ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合  
 × : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	モニタリング	事後評価		
その他の数値指標1							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の数値指標2							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の数値指標3							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ①本事業で支援を行った、NPOこんぶくろ池自然の森が、「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」の選定団体に選定、「第10回日本自然保護協会沼田真賞」、「第23回「緑の愛護」功労者国土交通大臣表彰」、「平成24年度 手づくり郷土賞(国土交通大臣表彰)一般部門」を受賞した。
- ②「マルシェコロール」「CO2見える化プロジェクト」「まちのコスチューム」の3つが平成23年度のグッドデザイン賞を受賞した。
- ③平成23年3月に経団連より「未来都市モデルプロジェクト」に、また、12月に内閣府より総合特区、環境未来都市の認定を受けた。
- ④平成24年11月に総務省よりICT街づくり推進事業に係る委託先候補の決定を受け、官民協働で「柏の葉スマートシティにおけるエネルギー・健康・防災の共通統合プラットフォームの構築」への取り組みを行っている。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した	—	—
	予定はなかったが実施した	—	
	予定したが実施できなかった (理由 )	—	
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
特定非営利活動法人こんぶくろの池自然の森による、こんぶくろ池の自主的整備	予定どおり実施した	—	NPOの自主的な整備は、学識者によるアドバイザー会議にて承認を得た上で実施をしている。今後もアドバイザー会議を承認の場とし、NPOの提案を積極的に支援していく方針とする。
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった (理由 )	—	
	予定どおり実施した	H22 通年 植物、昆虫等の自然環境調査の実施	
	予定はなかったが実施した	H23 11月 秋のこんぶくろ池祭りの開催	
	予定したが実施できなかった (理由 )	12月 案内リーフレット、ハンドブックの製作 通年 観察路の整備	
	予定どおり実施した	H24 11月～2月 木道の整備	
	予定はなかったが実施した	7月、12月 樹銘板の取り付け	
	予定したが実施できなかった (理由 )	H25 5月～7月 住民参加での草刈イベントの開催	
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
こんぶくろ池公園ボランティア団体等支援事業の実施	<p>予定どおり実施した ●</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった(理由)</p>	<p>○こんぶくろ池公園の保全や管理、活用に関わる支援を行った。</p>	<p>○特定非営利活動法人 こんぶくろの池自然の森 (民が中心となり、地域の様々な主体と連携して、柏市北西部に広がる千葉県内でも類のない湧水と、それによって維持されている湿地性の多様な動植物の生態系を擁するこんぶくろ池と、その周辺林の自然環境の保全・育成活動を行い、貴重な湧水と緑の資源を育むとともに、森と人の営みを活かしたコミュニティづくりに関する事業を行う)</p>	<p>活動が活発になってきていることから、継続的な支援を行うと共に、市が管理を委託している公園の区域の拡大等を検討する。</p>
柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)によるエリアマネジメントの実施	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した ●</p> <p>予定したが実施できなかった(理由)</p>	<p>○H21年5月から、柏の葉キャンパス駅周辺での定期市「マルシェコロール」を継続開催するようになった。</p> <p>○H25年7月に、柏市から景観法に基づく景観整備機構の指定を受け、優れた空間形成に向けた取り組みを始めたところである。</p>	<p>○一般社団法人 柏の葉アーバンデザインセンター (柏の葉地区を拠点とし、行政機関、特定非営利活動法人、市民、企業、教育研究機関等との連携により、アーバンデザインとまちづくりに関わる課題について、調査研究、計画立案、実践、並びにこれらの支援等を行うことを目的とする。また、そのための活動を通じて、柏の葉地区における質の高い都市空間の整備と保全、並びに地域社会の改善を図ると共に、その成果を柏市域、つくばエクスプレス沿線の地域、更には全国各地、世界各地へと広く公開し、応用、普及させることを目指す。)</p>	<p>公・民・学の連携により、まちづくりに係る研究・提案活動を行うほか、実際のまちづくりの調整支援、情報発信を行うことで、継続的な活動や新たな活動への取り組みを推進する。</p>
柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会によるまちづくり活動への取り組み	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した ●</p> <p>予定したが実施できなかった(理由)</p>	<p>○H23年11月から、防犯・防災や街の美化、活性化に向けて、防災イベントの開催やこんぶくろ池での草刈り体験、駅前の清掃などのさまざまな活動を行っている。</p>	<p>○柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会 (公民学の連携を推進し、主に柏の葉キャンパス駅前を中心とした地域の課題の解決に取り組むことで、安心、安全な街づくりの推進ならびに地域の交流促進に寄与することを目的とし、柏の葉キャンパス駅前周辺で居住・立地活動する町会、管理組合、企業、UDCKなどにより構成されている。)</p>	<p>単独組織では取り組むことが難しい地域レベルでの幅の広いまちづくり活動への取り組みを進めていく。</p>

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会議	道路整備課,道路維持管理課,北部整備課,学校施設課,企画調整課,都市計画課	平成25年8月30日(金)	柏市都市部 公園緑政課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1		指標3					
指標名		地区内の人口密度		つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅の一日平均乗車人員					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路事業(豊四季宿連寺線街路事業)	○	区画整理事業による集合住宅地開発が進み、柏の葉キャンパス駅近隣エリア内での住居の供給が行われ人口が順調に増加する。また、基幹事業であるこんぶくろ池公園整備事業、小学校整備事業を通して住みやすさが増し、地区の中心性が確保されたことにより、数値目標の達成に至った。	○	区画整理事業が進み、居住者の鉄道利用が増加し、基幹事業であるこんぶくろ池公園整備事業の推進、また地区内の学術研究機関や産業支援施設、県立柏の葉公園への広域的な交流が拡大し来訪者が増加することで、数値目標の達成に至った。				
	道路事業(道路側溝整備事業)	○							
	道路事業(柏の葉高校交差点改良事業)	○							
	公園事業(こんぶくろ池公園整備事業)	○							
	地域生活基盤施設(公共サイン設置)	○							
	地域生活基盤施設(駅周辺道路案内標識設置)	○							
提案事業	地域創造支援事業(小学校整備事業(用地取得))	○		○					
	まちづくり活動推進事業(こんぶくろ池公園ボランティア団体等支援事業)	○		○					
関連事業	柏北部中央地区土地区画整理事業	◎		◎					
	小学校施設整備事業	○		○					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ー：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	引き続き区画整理事業を推進し、居住の受け皿を創出するほか、居住環境の向上により街の魅力を高めるように努める。	来訪者の増加、広域交流の拡大を促進する拠点としての魅力を高めるよう努める。		
-------	--	---------------------------------------	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標2												
指標名		こんぶくろ池及び周辺の自然環境資源に関わるボランティアの活動人数												
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	
基幹事業	道路事業(豊四季宿連寺線街路事業)	-	H23年度に職員ボランティアの解散に伴い活動人員が減少したことや、福島第一原発事故の影響等により目標到達には至らなかったものの、人員の上昇傾向が見られ、一定の効果が確認できる。なお、定期的な活動は継続されている。	Ⅲ										
	道路事業(道路側溝整備事業)	-												
	道路事業(柏の葉高校交差点改良事業)	-												
	公園事業(こんぶくろ池公園整備事業)	△												
	地域生活基盤施設(公共サイン設置)	-												
	地域生活基盤施設(駅周辺道路案内標識設置)	-												
提案事業	地域創造支援事業(小学校整備事業(用地取得))	△												
	まちづくり活動推進事業(こんぶくろ池公園ボランティア団体等支援事業)	△												
関連事業	柏北部中央地区土地区画整理事業	△												
	小学校施設整備事業	△												

※目標未達成への影響度  
 ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。  
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。  
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。  
 -：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類  
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。  
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	引き続き定期的な活動(公園内の整備保全活動)に対する支援事業を継続して行うことで、ボランティア団体の育成を推進する。これに加え、多数の市民(新規の住民、元からの住民、近隣の学校)に働きかけを行い、ボランティア活動を活性化させていく。			
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会議	道路整備課,道路維持管理課,北部整備課,学校施設課,企画調整課,都市計画課	平成25年9月24日(火)	柏市都市部 公園緑政課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
貴重な自然環境資源である、こんぶくろ池及びその周辺の用地の担保と自然環境資源を保全するための早急な対応が必要となっている。	・柏市によるこんぶくろ池の用地取得が進んだほか、平成22年にまちづくりの推進や環境保全を目的とした「NPO法人こんぶくろ池自然の森」が設立された。 ・NPOによる積極的な里山活動、調査研究活動、清掃活動等が進んだことにより、良好な自然環境の保全が図られつつある。	まちづくり活動は軌道に乗りつつあるが、参加者が一旦減少に転じたなどの動向が見られ、当初目標値としていたボランティア活動人数には至らなかった。	
地区内に立地する各種施設を活かして広域交流による拠点性を高めるため、鉄道による来訪者への安全・快適な歩行環境の確保とともに、車輛交通による地区への円滑なアクセス確保が必要となっている。	豊四季宿連寺線については当初予定区間の整備を進めることができ、部分供用開始できる見込みが立ったほか、柏の葉高校交差点の整備などが進んだことから、交通利便性は向上しつつある。 また、サイン整備等により地区内の歩行者環境の向上が図られつつある。	—	地区内ではサイン整備が進んだものの、駅前を中心に都市機能の集約化が進みつつあることから、地区全体としてのサインの設置位置や掲示内容の再検討が必要となりつつある。  柏の葉キャンパス駅前を中心にUDCKを中心としたエリアマネジメントへの取り組みが進んでいるほか、NPO法人こんぶくろ池自然の森の活動など、さまざまなまちづくり活動が進んでいることから、これらの活動を後方支援し、活動しやすくする環境づくりが必要である。
柏市の北部ゾーンの拠点として機能する役割を担う地区であり、環境や景観に配慮したまちづくりが必要となっている。	柏北部中央地区土地区画整理事業により、駅前及び周辺部での生活利便施設や都市型住宅の立地が進み北部ゾーンとしての拠点が形成されつつある。また、当初計画していた小学校を開校することができたことから、拠点内での人口受け入れの体制が整いつつある。	—	今後、人口減少や少子高齢化が予測される中、効率的、効果的な都市基盤の整備が求められている。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。



添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	骨格・拠点となる水と緑の整備	・土地区画整理事業の進捗に併せ、こんぶくろ池の用地確保に加えて、公園や緑地等の整備を進め、環境や景観に配慮したまちづくりを更に発展させる。	こんぶくろ池の保全活動の継続 都市公園の整備推進 民有地内緑地の保全 等
	安全・安心、かつ、賑わいを発信する地域核の整備	・中心拠点として整備が進む本地区では、来訪者の増加や、広域交流の拡大を促進する。 ・人口流入が進む本地区において、居住の受け皿を創出するほか、居住環境の向上により街の魅力を高める。	柏の葉キャンパス駅周辺での交流イベント、オープンカフェ等の実施 文教施設の整備 防災機能の強化 土地区画整理事業の推進 等
	都市基盤の継続整備	・豊四季宿連寺線については残区間の継続整備を行うほか、地区内は土地区画整理事業による工事が予定されている箇所も多く残っているため、事業を継続し、安全で快適な交通体系を確立する。	都市計画道路の整備 土地区画整理事業の推進 等

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	地区内まちづくり活動の継続支援	・こんぶくろ池の保全活動だけでなく、様々なまちづくり活動が地区内で行われていることから、これらの活動の基盤強化のために支援を実施する。	まちづくり活動の支援
	効率的、効果的な都市基盤の運営・維持管理  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	・地区内に立地する柏市公設市場は、施設の老朽化により施設の更新が必要である。これまでも郊外への移転が検討されるなど都市機能の分散化が進む恐れがあるほか、長引く景気低迷のため市場の活性化が急務であることから、都市機能の集約化を図り既存のストックを有効活用する施策を展開する。  ・人口増加に対応する他、持続可能な都市居住の維持を図るため、中心拠点区域への文教施設など公共公益施設の集約立地を行う。  ・東日本大震災時に、倉庫から各避難所まで避難物資の運搬が交通渋滞により著しく遅延したことを踏まえ、避難場所としての公園や道路等、総合的な防災機能を持った面的な都市基盤施設の整備を図るとともに、帰宅困難者の一時的な受入れ施設や災害時要援護者に配慮した避難所、防災備蓄倉庫などの整備を推進する。  ・柏キャンパス駅から柏たなか駅の一体的に整備が進む地域において、緑のネットワークづくりを中心としたまちづくりの展開を行う。	柏市公設市場の再整備、 文教施設など公共公益施設の集約立地 都市計画道路の整備 公共交通の利便性向上 サイン計画の策定 等

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	地区内の人口密度	人/ha	39	H21	41	H25	確定	47	○	あり	→	平成26年5月	平成26年5月末時点における住民基本台帳から、柏北部地区(従前値と同様)の居住人口を集計し、1haあたりの人口密度を計測し、確定値とする。	
							見込み ●							
指標2	こんぶくろ池及び周辺の自然環境資源に関わるボランティアの年間の活動延べ人数	人/年	500	H21	1,000	H25	確定	720	△	あり	→	平成26年4月	平成26年4月頃公表予定である、特定非営利活動法人こんぶくろ池自然の森から平成25年度の累計ボランティア活動人員を聞き取り、確定値とする。	
							見込み ●							
指標3	つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅の一日平均乗車人員	人/日	9,100	H21	12,400	H25	確定	13,395	○	あり	→	平成26年6月	首都圏新都市鉄道株式会社が平成26年6月頃に公表予定である平成25年度の日平均乗車人員の公表値を、確定値とする。	
							見込み ●							
指標4							確定			あり	→			
							見込み							
指標5							確定			あり	→			
							見込み							
その他の数値指標1							確定				→			
							見込み							
その他の数値指標2							確定				→			
							見込み							
その他の数値指標3							確定				→			
							見込み							

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	「指標2. こんぶくろ池及び周辺のボランティア活動人員」について、目標値は未達成だったものの、各種団体から様々な表彰を受けたことを確認することができ、質の高い成果を上げたことを確認することができた。	まちづくり活動の回数等を評価する際には、参加者数だけでなく、実際の活動内容や表彰履歴等、定性的な評価と組み合わせて評価することが必要である。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	事後評価実施時に実務担当者による庁内会議を開催し、積極的な意見交換を実施したことで、事務局の考えに偏らない評価活動を行うことができた。	事後評価実施時に開催する庁内会議では、積極的な意見交換ができるよう、運営方法に配慮すべきであるとする。 今後、交付金の活用による地区整備を行う場合には、中間評価を実施し、指標の到達状況のチェックを行い、必要に応じて目標値の変更を行うことが望ましい。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

### 添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

柏北部地区(第2期計画)の実施を予定している。

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成25年11月11日～11月25日	同左	担当課への 郵送、電子メール、直 接持参	柏市都市部 公園緑政課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページ及び 公園緑政課窓口で原案を公 表している旨を掲載	平成25年11月15日発刊 広報11月15日号	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	市役所公園緑政課窓口にて 縦覧	平成25年11月11日～11月25日	同左		

住民の意見	<p>意見提出者:1名 意見内容(概要)</p> <p>以下のような課題があり、引き続き都市整備が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本地区では人口が急増しており、子どもが安全に遊べる場所や文化的な街とするため、児童館や図書館の整備が必要である。</li> <li>・こんぶくろ池の整備進ちょくが遅いと感じているほか、周辺の土地利用に対する指導を行うべき。</li> <li>・小学校の整備時期が遅いと感じており、今後の増築が遅れないようにしてほしい。また、中学校整備が計画されているが、これについても同様の対応が必要である。</li> <li>・小中学校については敷地内の一貫教育を検討すべきである。</li> <li>・柏市公設市場の魅力向上により有効活用を行ってほしい。</li> </ul>
-------	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	落合 実氏 (日本大学生産工学部教授) 三牧 浩也氏 (柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK) 副センター長、東京大学大学院新領域創成科学研究科 非常勤講師(都市デザイン))	平成25年11月26日(火)	柏市都市部 公園緑政課	柏市社会資本整備総合交付金委員会設置要領	-
その他の委員	根本 利治氏(高田ふるさと協議会会長) 豊嶋 一郎氏(田中ふるさと協議会会長)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	意見なし
	成果の評価	評価について概ね妥当であることが確認された。評価指標に対する意見は下記の通り。 【指標1:地区内の人口密度】目標値をもう少し高く設定しても、達成できたという意見があったが、区画整理事業が順調に進んだことにより、人口の伸び率が上がったとの説明があり、結果、目標を達成しているため良いと思う。 【指標2:ボランティア活動人員】目標未達成であったが、定期的な活動は継続されており、改善方針の部分に、引き続き定期的な活動に対する支援事業を継続するといった内容を付け加える形で取り纏めることとなった。これに加え、新しく住まわれてきた方々に加え、もよりの地域の方々、学校活動を取り込み、ボランティア活動を活性化していくことを、今回の改善策に含めることとなった。 【指標3:柏の葉キャンパス駅の日平均乗車人員】住民の利用が大多数を占められると思われるが、総合所見において、広域的な公園、来街促進の意味が含まれているので良いと思う。
	実施過程の評価	意見なし
	効果発現要因の整理	意見なし
	事後評価原案の公表の妥当性	本委員会では、意見を聴取し、委員会の中で行政の考え方を聞いた。全部やらねばいけないという事ではないが、今後のまちづくりを行っていく中で、地元と話をしていくことが確認された。但し、次期計画に反映させていくものは反映させ、図書館整備のような市全体の議論すべき事項については、市全体の適正配置を踏まえ検討していくこととなった。
	その他	意見なし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	妥当であると確認された
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	ソフトとハードでまちづくりを進めていくこと、また、これらから策定される次期計画において、この方策を基に、具現化した内容が入ってくるということが確認された。
	フォローアップ	意見なし
	その他	意見なし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当であると確認された
その他	意見なし	意見なし

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

# 都市再生整備計画(第5回変更)

柏北部地区

千葉県 柏市

平成25年7月



## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】地区と周辺地域とのアクセス機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部ゾーンの拠点としての役割を担うため、周辺地域から地区への主要なアクセス道路を整備し、円滑なアクセスの強化を図る。</li> <li>・地区内の主要な交差点における隅切り設置や側溝設置による歩行環境整備を行い、円滑な車輛交通及び歩行者の安全確保を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇【基幹事業・道路】豊四季宿連寺線街路事業</li> <li>◇【基幹事業・道路】道路側溝整備事業</li> <li>◇【基幹事業・道路】柏の葉高校交差点道路改良事業</li> </ul>
<p>【整備方針2】こんぶくろ池及び周辺の保全とまちづくりへの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんぶくろ池及び周辺の貴重な自然環境の保全担保と早急な対応を図るため、土地区画整理事業による近隣公園整備にあわせて、先行取得地の換地により担保することとなっているこんぶくろ公園の整備を行う。</li> <li>・こんぶくろ池公園の管理・保全のためのボランティア団体等の活動支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇【基幹事業・公園】こんぶくろ池公園整備事業</li> <li>◇【提案事業・まちづくり活動推進事業】こんぶくろ池公園ボランティア団体等支援事業</li> </ul>
<p>【整備方針3】地域住民の利便性向上、来訪者の増加、広域交流の拡大を促進する拠点到に相応しいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区外からのアクセスや地区内での円滑な車輛誘導を促進するため、駅周辺主要交差点において駅周辺道路案内標識を設置するとともに、駅周辺施設への来訪者の案内サービスの充実を図るため、公共サインを設置する。</li> <li>・地域住民の利便性を向上するとともに、土地区画整理事業の進捗に合わせた定住及びまちの熟成を促進するため、土地区画整理事業地区内に予定している小学校を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇【基幹事業・地域生活基盤施設】公共サイン設置</li> <li>◇【基幹事業・地域生活基盤施設】駅周辺道路案内標識設置</li> <li>◇【提案事業・地域創造支援事業】小学校整備事業(用地取得)</li> </ul>
<p>その他</p> <p>○まちづくりの目標達成に向けた交付期間中の計画管理 目標達成に向け事業の進捗、目標の達成状況等を定期的に調査し、課題の把握と事業の方向性について検討修正を図る。</p> <p>○継続的なまちづくり活動の推進 本地区は、市が策定した緑園都市構想や緑の基本計画における位置づけとともに、地域の関係者である千葉県・柏市・大学・民間企業・市民・NPO等が連携し、先端的な都市づくりを具体的に実践する「柏の葉国際キャンパスタウン構想(平成20年度3月)」を策定するなど、継続的なまちづくり活動が推進されてきた地区であり、本計画においてボランティア活動の支援を行い継続的なまちづくり活動へとつなげる。</p>	



様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	6,990	交付限度額	2,715	国費率	0.388
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(並報の単位は円/㎡)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	豊四季宿連寺線街路事業	豊四季宿連寺線	柏市	直	L=380m	平成21年度	平成30年度	平成21年度	平成25年度	1,969	968	968		968
道路	道路側溝整備事業	区画整理区域外	柏市	直	L=270m	平成21年度	平成25年度	平成21年度	平成22年度	8	8	8		8
道路	柏の葉高校交差点改良事業	柏の葉高校交差点	柏市	直	A=50㎡	平成21年度	平成25年度	平成21年度	平成21年度	12	12	12		12
道路(地方都市リノベーション事業)														
公園	こんぶくろ池公園整備事業	こんぶくろ池及び周辺	柏市	直	A=18.5ha	平成21年度	平成30年度	平成21年度	平成25年度	11,629	3,893	3,893		3,893
公園(地方都市リノベーション事業)														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	公共サイン設置	主要交差点	柏市	直	4基	平成21年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	4	4	4		4
	駅周辺道路案内標識設置	駅周辺主要交差点	柏市	直	2基	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	2	2	2		2
高質空間形成施設														
高次都市施設														
地方都市リノベーション推進施設														
生活拠点施設														
既存建造物活用事業(地方都市リノベーション推進施設)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										13,624	4,887	4,887	0	4,887

…A

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	小学校整備事業(用地取得)	柏北部中央地区土地区画整理事業地内	柏市	直	A=13,746㎡	平成22年度	平成23年度	平成22年度	平成23年度	2,117	2,117	2,117		2,100
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業	こんぶくろ池公園ボランティア団体等支援事業	こんぶくろ池及び周辺	NPO	直	—	平成21年度	平成25年度	平成22年度	平成25年度	3	3	3		3
合計										2,120	2,120	2,120	0	2,103

…B

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
柏北部中央地区土地区画整理事業		千葉県									
小学校施設整備事業	柏北部中央地区土地区画整理事業地内	柏市		9,615㎡		○	○			平成22年度	平成23年度
合計											0

合計(A+B) 6,990